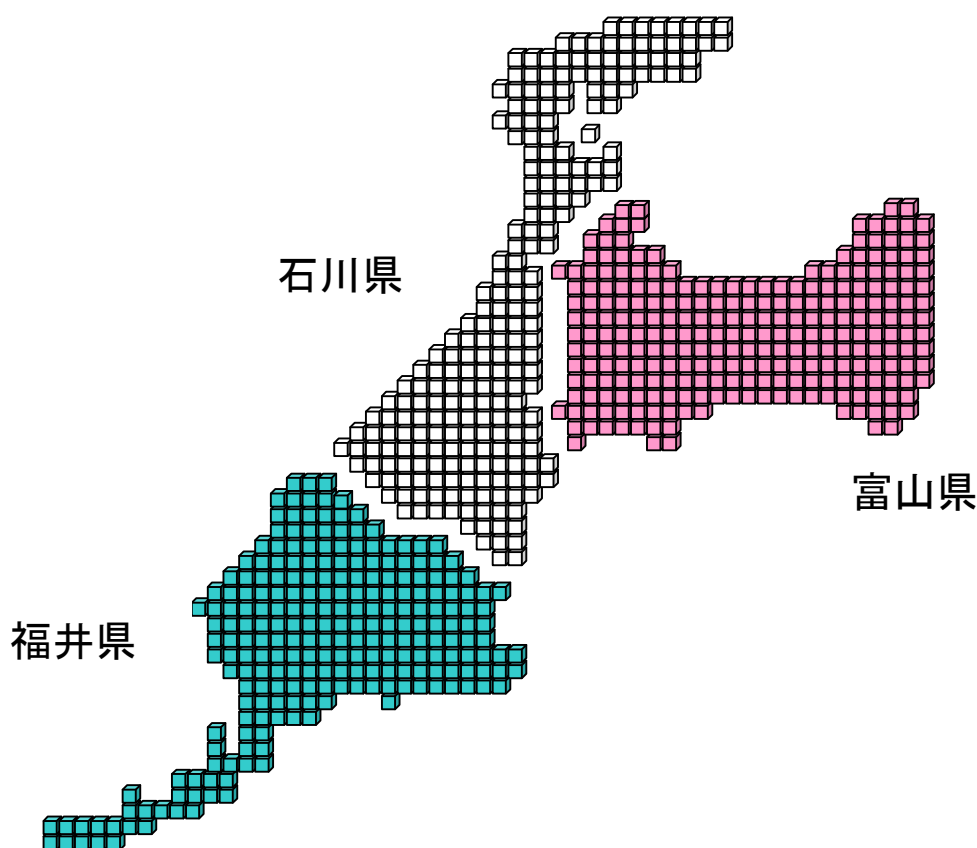


# 管内経済情勢報告




令和5年7月

財務省北陸財務局

お問合せ先  
財務省 北陸財務局 経済調査課  
TEL (076) 292-7858

## 1. 総論

## 【総括判断】「管内経済は、持ち直している」







項目	前回（5年4月判断）	今回（5年7月判断）	前回比較
総括判断	緩やかに持ち直している	持ち直している	

（注）5年7月判断は、前回4月判断以降、足下の状況までを含めた期間で判断している。

## （判断の要点）

個人消費は、ドラッグストア販売が好調となっており、百貨店・スーパー販売が緩やかに持ち直していることなどから、全体では持ち直している。生産活動は、電子部品・デバイスが下げ止まっているほか、化学が持ち直しているものの、生産用機械が拡大の動きに一服感がみられることなどから、全体では足踏みの状況にある。雇用情勢は、緩やかに持ち直している。

## 【各項目の判断】

項目	前回（5年4月判断）	今回（5年7月判断）	前回比較
個人消費	緩やかに持ち直している	持ち直している	
生産活動	足踏みの状況にある	足踏みの状況にある	
雇用情勢	緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している	
設備投資	4年度は増加見込みとなっている	5年度は増加見込みとなっている	
企業収益	4年度は減益見込みとなっている	5年度は増益見込みとなっている	
住宅建設	弱含んでいる	弱含んでいる	

## 【先行き】

先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、景気が持ち直していくことが期待される。ただし、世界的な金融引締め等が続く中、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。

## 2. 各論

### ■ 個人消費 「持ち直している」

百貨店・スーパー販売は、百貨店では高額品の動きがやや落ち着いていることから、前年を下回っているものの、スーパーでは飲食料品に動きがみられることから、前年を上回っており、全体では緩やかに持ち直している。コンビニエンスストア販売は、米飯類等に動きがみられることから、堅調となっている。ドラッグストア販売は、飲食料品等に動きがみられるほか、新規出店効果もあり、好調となっている。ホームセンター販売は、日用品等の動きが鈍いことから、弱含んでいる。家電大型専門店販売は、テレビや白物家電の動きが鈍いことから、弱含んでいる。新車販売台数は、普通乗用車、小型乗用車、軽乗用車ともに前年を上回っており、緩やかに持ち直している。主要観光地の入込客数及び主要温泉地の宿泊客数は前年を上回っている。旅行取扱実績は、海外旅行は厳しい状況にあるものの、国内旅行は持ち直している。以上のことから、個人消費については、持ち直している。

(主なヒアリング結果)

- 消費者の支出が旅行や外食に向いており、高額品の動きがやや落ち着いているものの、依然としてコロナ前は上回っている。(百貨店)
- 販売価格上昇の影響もあり、飲食料品の売上は前年を上回っているが、節約意識の影響で、ポイントが多く付く日にまとめ買いをする動きが顕著になっており、それ以外の日は客数や買上点数が減少している。(スーパー)
- 観光地周辺の店舗を中心に客数が増加しており、おにぎりなど米飯類の売れ行きが良い。(コンビニエンスストア)
- 飲食料品を中心に、他業態よりも価格を抑えて販売しており、消費者が流れてきている。また、マスク等の売上は前年を下回る一方、外出機会の増加から化粧品に動きがみられる。(ドラッグストア)
- 物価高による節約意識の影響から他業態との競合が増しており、日用品の買上点数が減少している。(ホームセンター)
- 物価高による節約意識から、家電の買い替えを遅らせる動きがみられており、テレビや白物家電の動きが鈍い。(家電大型専門店)
- 納車までの期間は徐々に短くなってきている。また、人気車種を中心に受注は順調に推移している。(自動車販売店)
- 旅行意欲の高まりによって、夏休みシーズンの予約についても順調に入ってきている。(温泉地)
- 国内客、インバウンドともに増加しており、特に飲食店の客数が回復している。(商業施設)
- 国内旅行は、北海道や沖縄などの遠方リゾート地が人気で、宿泊日数も長期化している。(旅行代理店)

### ■ 生産活動 「足踏みの状況にある」

電子部品・デバイスは、スマートフォン向けが下げ止まりつつあるほか、自動車向けが緩やかに持ち直しつつあることなどから、全体では下げ止まっている。化学は、大宗を占める医薬品で、持ち直している。生産用機械は、繊維機械が拡大しているほか、金属加工機械が増加しているものの、半導体製造装置が弱い動きとなっていることなどから、全体では拡大の動きに一服感がみられる。金属製品は、大宗を占めるアルミ建材で、住宅用が弱含んでいるほか、ビル用が持ち直しに向けた動きに一服感がみられることから、足踏みの状況にある。繊維は、衣料向け、非衣料向けともに緩やかに持ち直しつつある。以上のことから、生産活動については、足踏みの状況にある。

- スマートフォン向けについては、中国メーカーの在庫調整も進んできたようで徐々に受注が戻ってきている。(電子部品・デバイス)
- ジェネリック医薬品の需要が引き続き増加しており、生産が追い付いていない。(化学)
- 半導体製造装置については、世界的なメモリ需要の低迷を受けて海外の取引先が投資を控えているため、当社の生産台数が減少している。(生産用機械)
- 持家の着工戸数が減少していることから、引き続き住宅用建材やエクステリアが弱含んでいるほか、ビル用建材についても動きが鈍くなっている。(金属製品)
- 車両資材(カーシート)については、自動車減産の影響が解消に向かっており、回復してきている。(繊維)

### ■ 雇用情勢 「緩やかに持ち直している」

有効求人倍率は緩やかに低下しているものの、高水準で推移している。新規求人数は前年並みとなっており、新規求職者数は前年を上回っている。雇用保険受給者実人員は前年を上回っている。以上のことから、雇用情勢は、緩やかに持ち直している。

- 即戦力を必要としている企業では、特に人員確保に苦労している。また、賃上げもできていないため、若者を募集しても応募がほとんどない。(繊維、業界団体)
- 依然として人材の取り合いになっており、特に食品売場が足りていないため、今後の懸念材料となっている。(小売)
- 温泉旅館では、休日で宿泊客からのニーズが高くて、人手が足りず予約を断ったり、休館にせざるを得なかったりすることもある。(観光協会)
- 物価高などを背景として、収入増を目的にパートから正社員への転換やダブルワークを求める動きがみられ、求職者は増加している。賃上げの流れもあり、より良い条件の職場に転職したいというニーズがある。(労働局)

- **設備投資** 「5年度は増加見込みとなっている」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」5年4-6月期
    - 製造業では、生産用機械器具などが減少となるものの、情報通信機械器具、化学工業などが増加となることから、全体では増加見込みとなっている。
    - 非製造業では、運輸・郵便などが減少となるものの、金融・保険、情報通信などが増加となることから、全体では増加見込みとなっている。
- 半導体増産のための新工場建設などにより、増加見込み。(情報通信機械器具)
  - 店舗の建設やシステム更新などにより、増加見込み。(金融・保険)
  - 前年度に実施した大型投資の反動などにより、減少見込み。(生産用機械器具)
- **企業収益** 「5年度は増益見込みとなっている」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」5年4-6月期
    - 製造業では、窯業・土石製品などが減益となるものの、情報通信機械器具、自動車・同附属品などが増益となることから、全体では増益見込みとなっている。
    - 非製造業では、宿泊・飲食サービスなどが増益となるものの、学術研究・専門・技術サービス、情報通信などが減益となることから、全体では減益見込みとなっている。
  - **企業の景況感** 「『上昇』超となっている」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」5年4-6月期
    - 企業の景況判断BSIは、製造業が「下降」超となっているものの、非製造業が「上昇」超となっていることから、全産業では「上昇」超となっている。なお、先行きは、全産業では5年7-9月期、5年10-12月期ともに「上昇」超となる見通しとなっている。
  - **住宅建設** 「弱含んでいる」
    - 新設住宅着工戸数で見ると、弱含んでいる。
  - **公共事業** 「前年を下回っている」
    - 前払金保証請負金額で見ると、前年を下回っている。
  - **金融機関の貸出金** 「前年を上回っている」
    - 金融機関の貸出金は、前年を上回っている。
  - **企業倒産** 「前年を上回っている」
    - 件数、負債総額ともに前年を上回っている。
  - **消費者物価(金沢市、生鮮食品を除く総合)** 「前年を上回っている」
    - 消費者物価指数で見ると、前年を上回っている。

### 3. 各県の総括判断

	前回(5年4月判断)	今回(5年7月判断)	前回比較	総括判断の要点
石川県	緩やかに持ち直している	持ち直している		個人消費は持ち直しており、生産活動は緩やかに持ち直しつつある。また、雇用情勢は、緩やかに持ち直している。
富山県	緩やかに持ち直している	持ち直している		個人消費は持ち直しており、生産活動は足踏みの状況にある。また、雇用情勢は、持ち直しのテンポが緩やかになっている。
福井県	持ち直しの動きに一服感がみられる	緩やかに持ち直している		個人消費は緩やかに持ち直しており、生産活動は弱含んでいる。また、雇用情勢は、持ち直している。